

「街にあの頃の夢をプロジェクト」のご提案



シニアの
集客・入会に
ご興味がありまし
たらご傾聴く
ださい

オードリー・ヘップバーン生誕80年記念

日本初公開、貴重なデビュー作品のポスターをはじめ、日本と世界各国のポスター！
160枚の主演映画ポスターでよみがえる、永遠の妖精。

キネアートネットワーク
kineart.net

映画ポスターコレクターのコミュニティ、 キネアート・ネットワークに参加しませんか。

昭和が終わってから21年経ちました。そして、昭和という時代を懐かしむ声がかしこで聞かれるようになりました。

あなたにとって、昭和とはどんな時代だったでしょうか。

64年という歳月は、日本国民が体験したことのない大きな出来事の連続でしたが、同時にぬくもりのある平和な日々が続き、誰もが夢を描き、それをかなえることができる可能性に満ちた64年でもありました。豊かさも便利さもほどほどでした。社会は、背丈にあった洋服のように着心地のよさがありました。無理をせず、見栄をはらなければ、そこそこに暮らしていけました。そして、何よりもいつも身近に映画がありました。

テレビにその座を奪われるまでは、映画は昭和の娯楽の王様でした。今のように、新聞、テレビなどの情報ツールが発達していなかった当時、映画館のガラスウインドウに飾られたポスターが映画宣伝のすべてであり、別世界へと誘なわれた観客は切符売り場に列をなしたものです。SFXもCGもない、実写がすべての時代、映画は間違いなく人の心というスクリーンに、時代を映し続けてきました。

ところで、上映期間が終了すると紙ごみとして処分される運命にあった映画ポスター達は、その後どこへいったのでしょうか。どっこい、しっかりと生きていました。多くの映画ファンやマニアによって、じっとその時をまっていたのです。

- 一枚一枚の映画ポスターには、紛れもなく時代が映し出されています。
- 一枚一枚の映画ポスターには、紛れもなくそれぞれの国の文化が香ります。
- 一枚一枚の映画ポスターには、紛れもなくアートの世界が息づいています。

キネアートネットワークは、ネットワーク上に映画ポスターのコミュニティをつくり、市井に眠る映画ポスターをそのコミュニティ上に集め、目覚めさせ、昭和という時代を生きた映画文化をキネアートとして再構築し、さらにはキネアートを活用して人と社会に元気をもたらすことはできないかと話し合っていたグループを母体としています。

キネアートネットワークは、映画によって昭和を語る様々なイベントや展示館、まちおこしなどのソフトとして映画ポスターを提供いたします。もちろん日本映画から外国映画までジャンルは問いません。（具体的なキネアートの活用例としては、昭和を彩った内外の名画のポスター展示会、各地に開設されている昭和記念館へのリース、映画祭イベントにおける映画ポスター展、映画ポスターのアート文化講演会、映画ポスター活用による商品化計画等を予定しています。）

わたしたちは今、キネアートネットワークの公益法人化を準備しています。

この後続くオードリー・ヘップバーン特集はキネアート・ネットワークの、記念すべき第1回の提案です。

今年は彼女の生誕80周年、現在ネットワーク上で確認できているポスターは約160点。

映画の力を信ずる皆様に於かれましては、キネアートを活用して人と社会を元気にするキネアート・ネットワークへの参加、並びに本提案のご検討をお願い申し上げます。

「街にあの頃の夢をプロジェクト」とは

日本が最も元気だったあの頃 元気の源は映画(夢)だった

「街にあの頃の映画をプロジェクト」は、街にあの頃の元気を取り戻したいと考えた赤坂シネマテイクとキネアートネットワークが、お互いのアート資産(国内外の稀少価値の高い映画ポスター)を出し合い、地域や空間にディスプレイして、地域や商店街の活性化や、販促に活用していただくプロジェクトです。出演者(俳優)、監督、ジャンル、公開年代、テーマ、国別など、リクエストに応じて作品の収集・掲示が可能です。

例えば

- クリント・イーストウッド
- スティーブ・マックイーン
- 黒澤明
- 東宝社長シリーズ
- 無責任男シリーズ 等等

テーマに合わせて
作品のポスターを貸与
街中や
店舗などに展示

キネアートネットワーク

赤坂シネマテイクが映画ポスターの扱いをはじめ今年で、丸42年。その間に約100万枚を超えるポスター、映画パンフレット、ちらし、映画雑誌などキネアートといわれるあらゆる作品を扱ってきました。それらは、日本はもちろん、アメリカ、ヨーロッパや共産圏、南米の国々など世界中に広がります。映画ポスターの人気は、日本よりもアメリカやヨーロッパのほうが高く、取引も盛んで、オークションなどの専門業者も少なくありません。我が国では、マニアの間での取引が一般的ですが、シネマテイクはそんな数少ない専門会社として知られてきました。

シネマテイクがこれほどのポスターをハンドリングできる理由は、長い歴史によって培われたネットワーク力にあります。シネマテイクを通して取引されたお客さまとの間で、自然発生的にネットワークがつくれ、どこに、誰のところに、どんなポスターがコレクションされているか、というような情報の交換が行われています。キネアートネットワークはこのネットワークを母体としています。

赤坂シネマテイクとは

赤坂シネマテイクの母体である、(株)日本企画は、赤坂において、1967年、外国映画配給会社として設立され、欧米児童文化映画を紹介し、日本全国で16mm映画フィルムの配給を中心に活動してまいりましたが、1985年より、蓄積された膨大な映画資料・ポスターを基に新たに屋号を「赤坂シネマテイク」として映画宣材・グッズの販売事業を展開する事になりました。当時、洋画の原産国からの輸入オリジナルポスターは、日本で殆ど紹介されておらず、また海外の流通ルートも個人的なマニア間の交換によるものだけでした。弊店は当初より専任のスタッフを現地におくなどこの方面の映画宣材の国内への紹介普及を事業の主軸におきながら、海外においてはクリスティーン・サザビー等のオークションへの積極的な参加、国内版映画ポスターの紹介を行って参りました。お蔭様で皆様方の多大なご支持ご高配を承り、現在では質・規模共、世界一流に比肩しうるディーラーに成長したと自負しております。

(会社略歴補足)

1967年設立以来、特に児童、教育、福祉、民主的政治映画において精力的に活動し、エンターテインメント一辺倒のメジャーの対極として、親子映画会、教職員、労働組合、高校、大学映研、あるいは、当時の文化的指向の高い学生などの幅広い支持を頂き、東欧、北欧などから多くの映画を紹介しました。

いまでは誰も耳にした事のある、「長靴下のピッピ」、「ピーターラビット」「大泥棒ホットンプロッツ」等を映像としてはじめて日本に紹介したのは弊社でした。当時、岸田今日子、ハナ肇氏らの吹き替えで日本版を製作し、全国各地での長年にわたる草の根的な活動により興行的に大成功をおさめました。「長靴下のピッピ」では、現天皇陛下幼少時の天覧に浴し、弊社社長が東宮御所へ皇室専用車の送迎付で招待された事もありました。他に、スバル座を満席にした「抵抗のプラハ」、後に韓国から朝鮮そして米に亡命し、世界中で話題となったシン・ソウギョクの「帰らざる密使」、ドキュメンタリー映画「ベートーベンの生涯」等があります。

70年代に入り、経済高度成長とともに、世相はかつてない政治文化意識の高揚を見せました。高校・大学をはじめ各地で団体が組織され、いわゆる自主上映ブームがはじまります。ビデオのない時代に映画は、いろいろな意味で若者の文化の担い手でもありました。社長、高橋は初代全国映像事業者連盟の会長に選任され、弊社は、文化祭、民主集会御用達の16mmフィルム・機材レンタル・企画会社として、常時数百の16mm映画フィルムを所有し、数千の他社のフィルムにアクセスできる立場にありました。現在弊店の在庫となっている、映画宣材はこの時期、観客動員の目的で、製作社より直接譲りうけたものが殆どです。

80年代は、ビデオの隆盛とともに16mm映画フィルムレンタルビジネスは衰退を余儀なくされましたが、その一方、ビデオ鑑賞後の付加価値としての映画宣材の需要がでてきました。余りある映画宣材在庫を抱える弊社が「赤坂シネマテイク」を発足させるのは必然でした。当時、社長の3人の子はそれぞれの理由で海外に住んでおりましたが、この事も、弊店が現在までも海外オリジナル映画ポスター紹介の草分けとして、コレクターの間に広く認知される要因となりました。(記録として、弊社より以前に青山に、海外オリジナルポスターを扱ったお店があったそうですが、特に宣伝もせず、殆ど知られることなく閉められたようです。)また、日本版についても、開店以来、専任の仕入れ係りを配し、在庫に頼らず、常に新しい宣材確保に努めてきました。その後の発展は、現在に至るまで、はるかに予想を上回るものでしたが、皆様のご鼻息、ご支援を、21世紀のスタッフの世代交代につなげていけますようさらに努力していきたいと思っております。

現在、社長は、「平和と民主主義を愛する映画人墓碑の会」理事として、赤坂倉庫の一部を“会”の事務局として提供し、年々老いても情熱止むことのない映画人とともに、「墓の中でも映画を語ろう。」という崇高な目的に向かって、ボランティア活動をしています。墨田区多聞寺にある新藤兼人、直筆の大きな墓碑の下に「有名、無名を問わず、映画に一生を捧げたものが死後も楽しく集まりましょう」というこの会は、先に逝かれて墓碑の中で待っている故今井正、山本薩夫、吉村公三郎監督、俳優エノケン、乙羽信子、殿山泰司、花沢徳衛氏など日本を代表する映画人、助監、照明、大部屋、小道具、脚本、カメラ、興行配給者など貧富の差も、生前、死後の変わりもなく皆様、年に数回集まっては、かつて自分がかかわった作品の思い出話に花がさいているようです。ここでも社長はしっかり、「いらなくなった、古い映画ポスターは赤坂シネマテイクに。」と...?!



それは一枚のポスターから始まる。

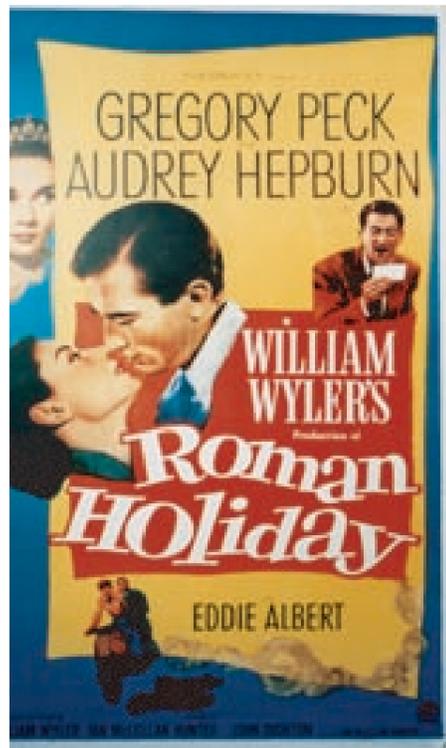
「ローマの休日」をはじめて観たのは何歳のときでしたか。

「ローマの休日」は誰といっしょに観ましたか。

「ローマの休日」を観た回数は、何回ですか。

「ローマの休日」をいちばん最後に観たのはいつですか。

「ローマの休日」が劇場でリバイバルされたら、もう一度観てみたいですか。



ここに二枚のポスターがあります。

一枚は「ローマの休日」(Roman Holiday)が公開された年にアメリカで宣伝用に作成されたポスターです。このポスターから感じ取れるのは、「ローマの休日」が、ラブコメディタッチの映画だということです。新聞記者役のグレゴリー・ペックの名前が上で、王女役のオードリー・ヘップバーンは二番目の扱い。カメラマン役のエディ・アルバートは、下のほうにレイアウト素材の一部という扱いです。当時の映画ポスターとしては斬新だったようですが、オードリー・ヘップバーンから、王女様というイメージが連想できません。

では、もう一枚のポスター、日本版ではどうだったでしょうか。太平洋戦争が終わり、ようやく市民生活も落ち着き取り戻しつつあった昭和28年、「ローマの休日」は日本で公開されました。二枚を比較するまでもなく、日本版ではオードリー・ヘップバーンが主役で、グレゴリー・ペックは共演者の扱いです。全体のイメージは、映画のストーリーを感じさせます。王女と新聞記者が、見たこともない小さなスクーターに二人乗りして、ローマの名所を巡り、歩き、川の浮き舞台でのダンスパーティでは、王女の大立ち回り、いつのまにか恋が芽生えて、そして叶わぬ恋のはかない別れ。何回観ても、真実の口ではオッと思わず声をあげたくなり、映画評論家の故淀川長治さんをして映画史上最高のラストシーンと言わしめた、カテドラルでの記者会見を終えた王女が去っていく後ろ姿に、涙をおさえきれなくなってしまう。公開から、56年経った今でも、叶わぬ恋への切なさが、私たち日本人の琴線を振るわせつづけているのです。

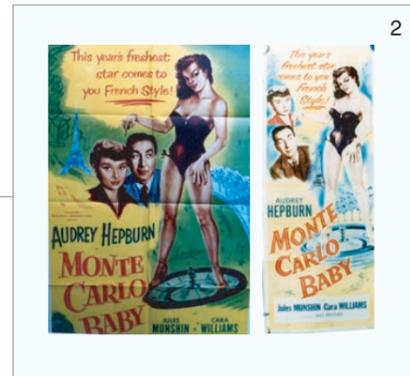
映画「ローマの休日」は、再出発した昭和のひとつの出来事だったのかもしれませんが。そして、戦後の昭和そのものだったのかもしれませんが。「ローマの休日」が、いまでも変わることなく日本人に愛され続けている理由は、きっとそんなところにあるのでしょう。



Project file No. **1** 1929.5.4-1993.1.20

Audrey Hepburn

公開年	邦題	原題
1948	オランダの7つの教訓	Nederlands in 7 lessen
1951	若気のいたり	One Wild Oat
	天国の声	Laughter in Paradise
	ラベンダー・ヒル一味	The Lavender Hill Mob
1952	若い妻たちの物語	Young Wives' Tale
	モンテカルロへ行こう	Nous irons _ Monte-Carlo
	初恋	The Secret People
1953	ローマの休日	Roman Holiday
1954	麗しのサブリナ	Sabrina
1956	戦争と平和	War and Peace
1957	パリの恋人	Funny Face
	昼下りの情事	Love in the Afternoon
1959	緑の館	Green Mansions
	尼僧物語	The Nun's Story
1960	許されざる者	The Unforgiven
1961	ティファニーで朝食を	Breakfast at Tiffany's
	噂の二人	The Children's Hour
1963	シャレード	Charade
1964	パリで一緒に	Paris When It Sizzles
	マイ・フェア・レディ	My Fair Lady
1966	おしゃれ泥棒	How to Steal a Million
1967	いつも二人で	Two for the Road
	暗くなるまで待って	Wait Until Dark
1976	ロビンとマリアン	Robin and Marian
1979	華麗なる相続人	Bloodline
1981	ニューヨークの恋人たち	They All Laughed
1986	おしゃれ泥棒2	Love Among Thieves
1989	オールウェイズ	Always

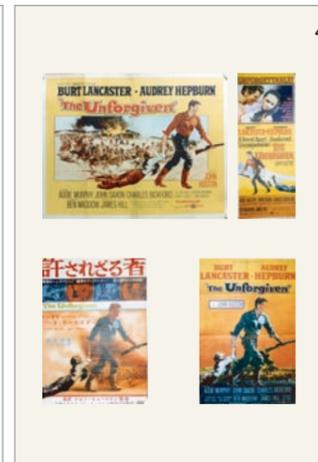
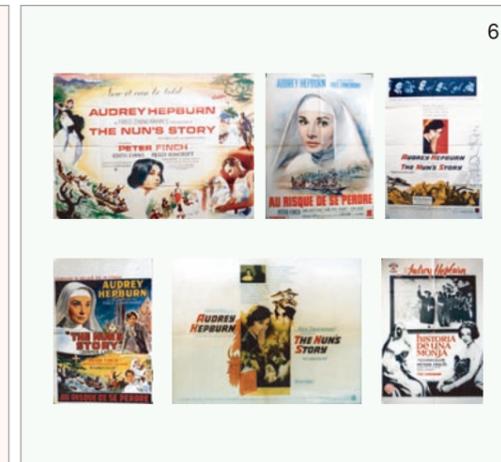
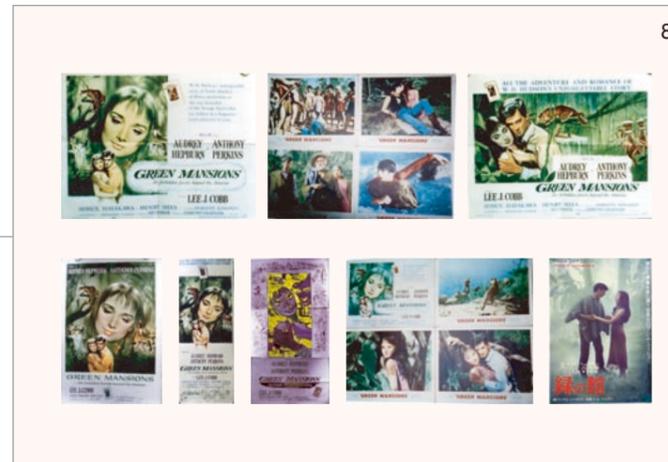
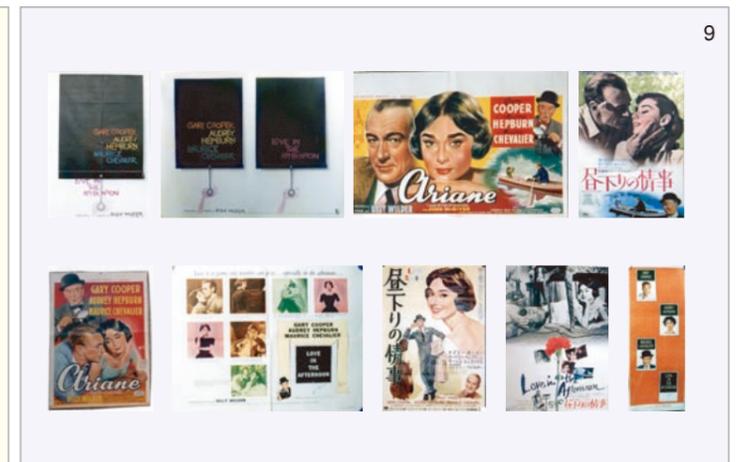
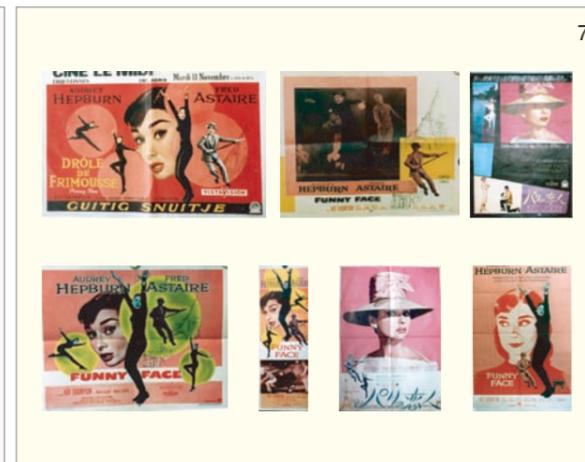
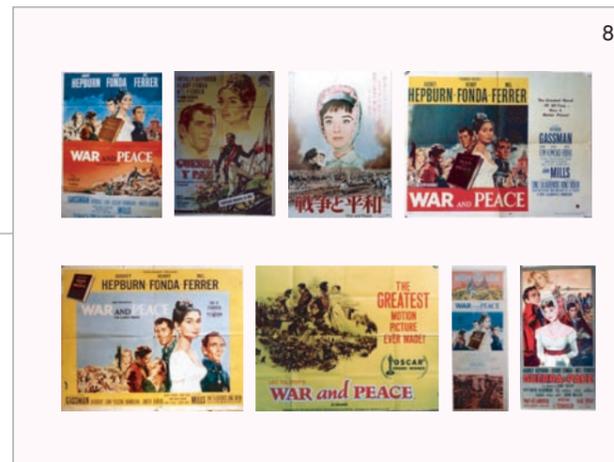


ポスター点数:162
(日本:51, 海外:111)
ポスターサイズ:
日本版 (B2) w52×h73cm
日本版 (立看) w52×h146cm
US版 w68×h104cm
UK版 w101×78cm
FR大版w120×h160cm
作品数:21
DVD:130 (入手可能なタイトル数)

Project file No. **1** 1929.5.4-1993.1.20

Audrey Hepburn

公開年	邦題	原題
1948	オランダの7つの教訓	Nederlands in 7 lessen
1951	若気のいたり	One Wild Oat
	天国の声	Laughter in Paradise
	ラベンダー・ヒルズ	The Lavender Hill Mob
1952	若い妻たちの物語	Young Wives' Tale
	モンテカルロへ行こう	Nous irons _ Monte-Carlo
	初恋	The Secret People
1953	ローマの休日	Roman Holiday
1954	麗しのサブリナ	Sabrina
1956	戦争と平和	War and Peace
1957	パリの恋人	Funny Face
	昼下りの情事	Love in the Afternoon
1959	緑の館	Green Mansions
	尼僧物語	The Nun's Story
1960	許されざる者	The Unforgiven
1961	ティファニーで朝食を	Breakfast at Tiffany's
	噂の二人	The Children's Hour
1963	チャレード	Charade
1964	パリで一緒に	Paris When It Sizzles
	マイ・フェア・レディ	My Fair Lady
1966	おしゃれ泥棒	How to Steal a Million
1967	いつも二人で	Two for the Road
	暗くなるまで待って	Wait Until Dark
1976	ロビンとマリアン	Robin and Marian
1979	華麗なる相続人	Bloodline
1981	ニューヨークの恋人たち	They All Laughed
1986	おしゃれ泥棒2	Love Among Thieves
1989	オールウェイズ	Always



Project file No. **1** 1929.5.4-1993.1.20

Audrey Hepburn

公開年	邦題	原題
1948	オランダの7つの教訓	Nederlands in 7 lessen
1951	若気のいたり	One Wild Oat
	天国の声	Laughter in Paradise
	ラベンダー・ヒル味	The Lavender Hill Mob
1952	若い妻たちの物語	Young Wives' Tale
	モンテカルロへ行こう	Nous irons _ Monte-Carlo
	初恋	The Secret People
1953	ローマの休日	Roman Holiday
1954	麗しのサブリナ	Sabrina
1956	戦争と平和	War and Peace
1957	パリの恋人	Funny Face
	昼下りの情事	Love in the Afternoon
1959	緑の館	Green Mansions
	尼僧物語	The Nun's Story
1960	許されざる者	The Unforgiven
1961	ティファニーで朝食を	Breakfast at Tiffany's
	噂の二人	The Children's Hour
1963	シャレード	Charade
1964	パリで一緒に	Paris When It Sizzles
	マイ・フェア・レディ	My Fair Lady
1966	おしゃれ泥棒	How to Steal a Million
1967	いつも二人で	Two for the Road
	暗くなるまで待って	Wait Until Dark
1976	ロビンとマリアン	Robin and Marian
1979	華麗なる相続人	Bloodline
1981	ニューヨークの恋人たち	They All Laughed
1986	おしゃれ泥棒2	Love Among Thieves
1989	オールウェイズ	Always



15



3



15



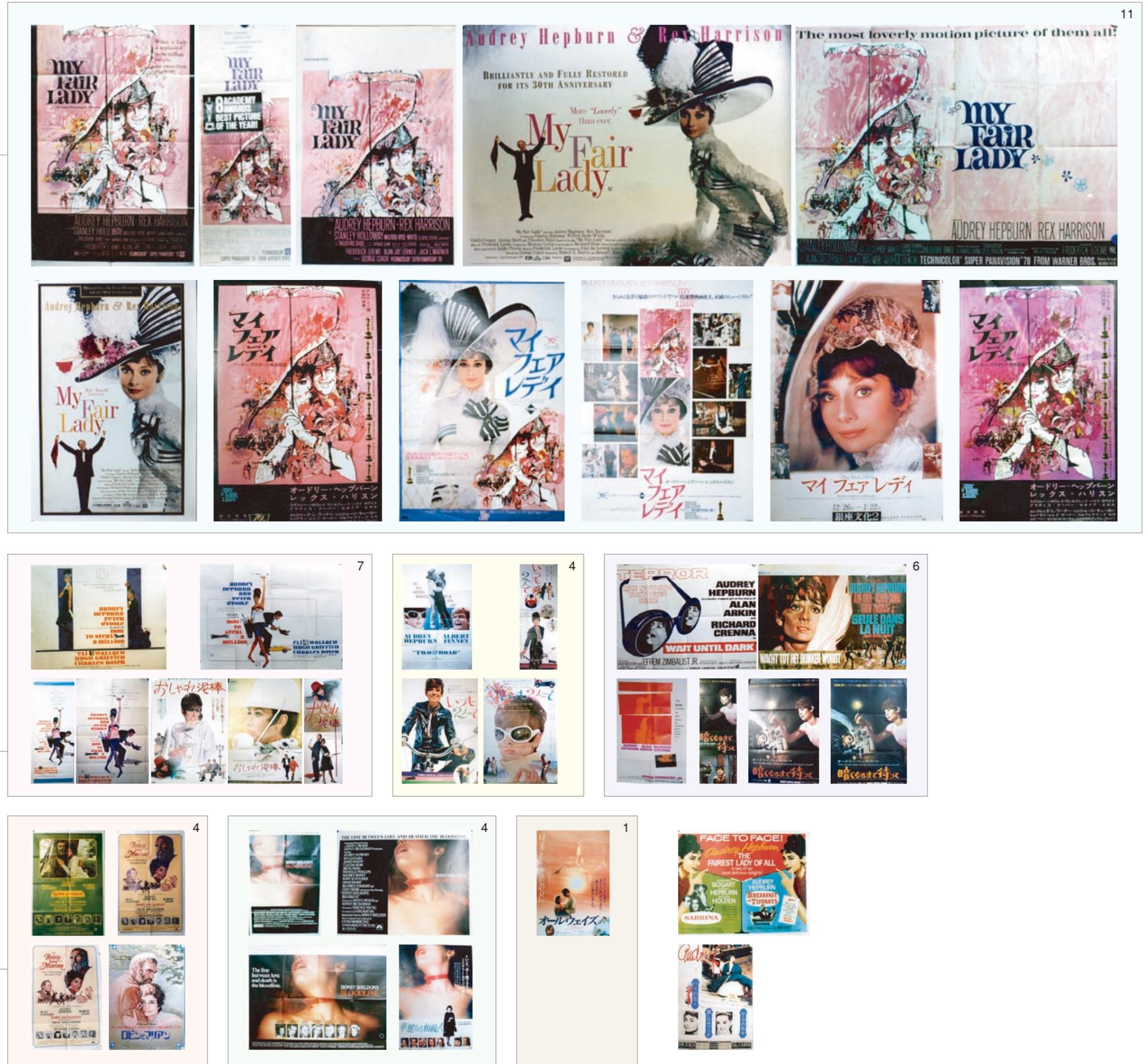
7



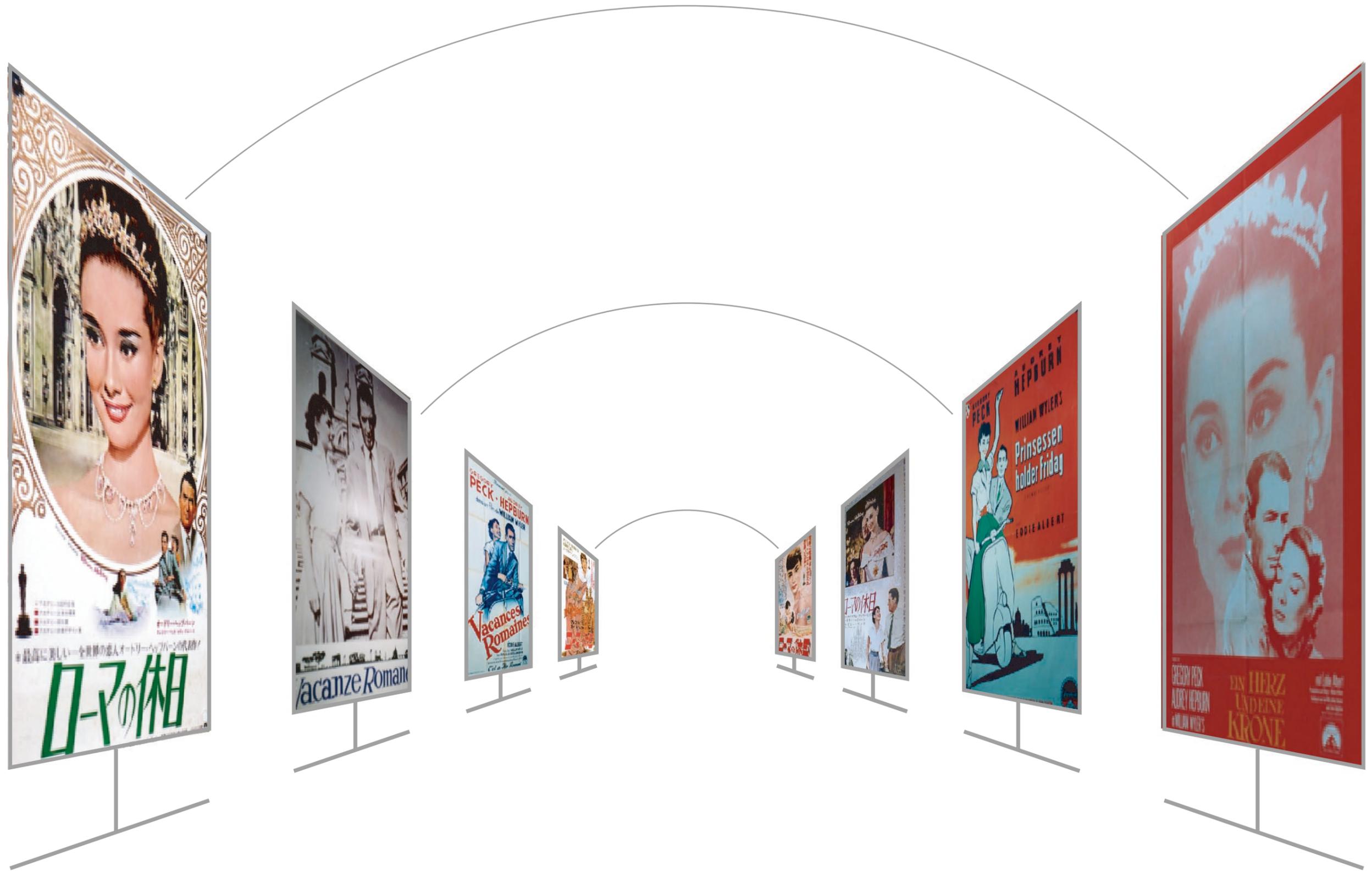
Project file No. **1** 1929.5.4-1993.1.20

Audrey Hepburn

公開年	邦題	原題
1948	オランダの7つの教訓	Nederlands in 7 lessen
1951	若気のいたり	One Wild Oat
	天国の声	Laughter in Paradise
	ラベンダー・ヒル一味	The Lavender Hill Mob
1952	若い妻たちの物語	Young Wives' Tale
	モンテカルロへ行こう	Nous irons _ Monte-Carlo
	初恋	The Secret People
1953	ローマの休日	Roman Holiday
1954	麗しのサブリナ	Sabrina
1956	戦争と平和	War and Peace
1957	パリの恋人	Funny Face
	昼下りの情事	Love in the Afternoon
1959	緑の館	Green Mansions
	尼僧物語	The Nun's Story
1960	許されざる者	The Unforgiven
1961	ティファニーで朝食を	Breakfast at Tiffany's
	噂の二人	The Children's Hour
1963	シャレード	Charade
1964	パリで一緒に	Paris When It Sizzles
	マイ・フェア・レディ	My Fair Lady
1966	おしゃれ泥棒	How to Steal a Million
1967	いつも二人で	Two for the Road
	暗くなるまで待って	Wait Until Dark
1976	ロビンとマリアン	Robin and Marian
1979	華麗なる相続人	Bloodline
1981	ニューヨークの恋人たち	They All Laughed
1986	おしゃれ泥棒2	Love Among Thieves
1989	オールウェイズ	Always

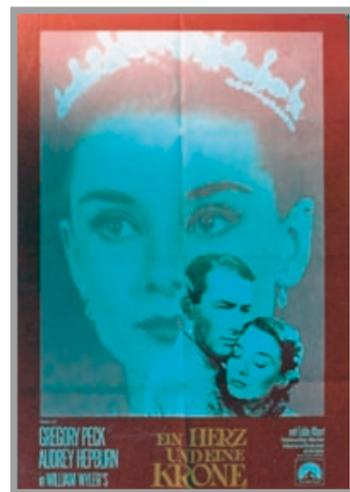


アーケードで展開するキネアートギャラリー

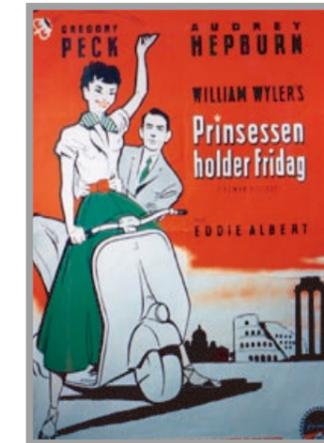


店舗のエントランスなどで展開するキネアートギャラリー

(エントランスやショーウィンドウ)



(エントランス階段)



いつも、近くに映画があった。映画ポスターで振り返る、昭和の日本 (その他のポスター展のイメージ)

野口久光の世界

映画、ジャズ、ミュージカル評論家、画家、翻訳家にして「望郷」「天井桟敷の人々」「禁じられた遊び」「大人は判ってくれない」等1000点を超えるポスターを描いた。
今年生誕100周年(1909.84-1994.6.13)



西部劇スターの競演

ジョン・ウエインから
スティーブ・マックイーンまで、
彼らはみんなかっこよかった。



時代劇スター大集合

板東妻三郎から勝新太郎まで、
昭和を走り抜けたスター達



欧米女優の魅力

イングリッド・バーグマンから
フェイ・ダナウエイまで
その美しさは時代を映していた。



その他のシリーズ

- ・ヒッチコックシリーズ
- ・松竹、大映、東映、日活、東宝各映画会社シリーズ
- ・サラリーマン無責任シリーズ
- ・若大将シリーズ
- ・吉永小百合作品集 など



1953年以前の映画作品例 (ポスターの2次利用が可能)

女優

- カサブランカ:イングリッド・バーグマン (43)
- 誰がために鐘は鳴る:イングリッド・バーグマン (43)
- ガス燈:イングリッド・バーグマン (44)
- ローマの休日:オードリー・ヘップバーン (53)
- 風と共に去りぬ:ビビアン・リー (39)
- 哀愁:ビビアン・リー (40)
- モロッコ:マレーネ・デートリッヒ (30)
- 上海特急:マレーネ・デートリッヒ (32)
- 真昼の決闘:グレイス・ケリー (52)

チャップリン

- 黄金狂時代 (25)
- モダンタイムス (36)
- 街の灯 (31)
- ライムライト (52)
- チャップリンの殺人狂時代 (47)

西部劇

- 駅馬車 (39)
- 荒野の決闘 (46)
- シェーン (53)
- 真昼の決闘 (52)

戦争映画

- 西部戦線異状なし (30)
- モロッコ (30)
- 戦火のかなた (48)
- 無防備都市 (45)
- 外人部隊 (33)

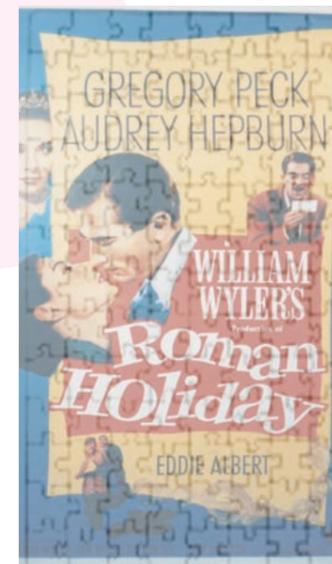
ヨーロッパ

- 望郷 (37)
- 自転車泥棒 (48)
- 女だけの都 (35)
- 恐怖の報酬 (52)
- 禁じられた遊び (52)
- 第三の男 (49)
- 大いなる幻影 (37)

アメリカ

- 怒りの葡萄 (40)
- 雨に唄えば (52)
- わが谷は緑なりき (41)
- 陽の当たる場所 (51)
- 市民ケーン (41) 日本公開66年

シニア向けのシリーズ商品として
ジグゾーパズル等



商店街やShopの
イメージづくりに
マグカップ、Tシャツ、
マイバック等

物語をおくる
ワインラベル



街のイメージづくりに
シャッターアート